

# スマート農業導入加速化事業 お試し導入 事例紹介

1 実施年度 令和元年度～令和2年度

2 導入機器 施設園芸ほ場モニタリングシステム



3 事業実施主体

地域（市町村）	作目	実施年度
伊那市	花き（アルストロメリア）	令和元, 2年度
安曇野市	野菜（いちご）	令和元, 2年度
長野市	野菜（キュウリ）	令和元, 2年度
長野市	野菜（トルコギキョウ）	令和元, 2年度
飯山市	花き（ユリ、スズラン）	令和元年度
須坂市	果樹（ぶどう）	令和2年度

4 実績

（1）感想、意見

- ・ 施設内の状況がタイムリーに把握できるので便利である。（野菜）
- ・ ハウス内の異常が発生した際の被害軽減、最適な栽培環境づくりのためのデータ蓄積につながる。（野菜）
- ・ 環境制御と連動すれば便利である。（花き）
- ・ ハウス内の状況がわかるのは便利であるが、増収に結びついていない。（花き）
- ・ 土壌水分が可視化できるので、適切なかん水ができた。（果樹）

（2）収集データからの経営改善効果

- ・ 適切な栽培管理が可能となり増収となった事例があった（野菜）

5 お問い合わせ先

農政部園芸畜産課 果樹・花き係（果樹, 花き関係） 電話:026-235-7227（直通）  
野菜・特産係（野菜関係） 電話:026-235-7228（直通）